



UNITED NATIONS  
UNIVERSITY

**UNU-IAS**

Institute for the Advanced Study  
of Sustainability

# GEOC Newsletter No.10

August 2018



皆さん、「国際サンゴ礁年」をご存じですか？

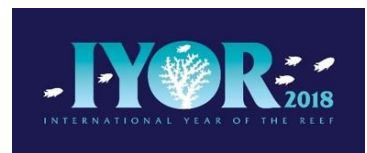
## 国際サンゴ礁年特集

「国際サンゴ礁年」とは、サンゴ礁生態系の価値や、それを取り巻く脅威について普及啓発を行い一人ひとりの行動を促すことを目的とする地球規模のキャンペーンです。

サンゴ礁生態系保全の国際協力の枠組みである国際サンゴ礁イニシアティブ(ICRI)が2018年を3回目の「国際サンゴ礁年」(IYOR: International Year of the Reef)に指定したことを受けて国内でも、幅広く多様な主体と連携し、国際サンゴ礁年2018を展開しています。

キャッチフレーズは、「つながる、広がる、支えあう」です。

参照: 環境省ウェブサイト「国際サンゴ礁年」とは







## 【サンゴの基礎知識】

### サンゴは植物？動物？ サンゴとサンゴ礁は違う？

サンゴは動物です。

クラゲやイソギンチャクの仲間で、刺胞動物に含まれます。石灰化するサンゴの骨格などが長い年月をかけて積み重なり地形となったものがサンゴ礁です。「サンゴ」は生きもの、「サンゴ礁」は地形のことを指します。

サンゴの体の中には「褐虫藻」という植物プランクトンがたくさん生きています。褐虫藻は太陽の光をあびて栄養を作り(光合成)、その栄養をサンゴに与えています。

### サンゴ礁がもたらす恵み

- ❖ **豊かな漁場** 「海の熱帯林」と言われるサンゴ礁は、様々な種類の魚類、ナマコや貝類といった生きもののすみかであり、豊かな漁場を育みます。
- ❖ **観光** 美しい海中の景観は私たちに癒しをもたらし、観光産業を生み出します。
- ❖ **防災・減災** サンゴ礁は陸地の周りを囲むように成長します。波を弱める役目をはたし、津波、高潮等の被害を軽減する「天然の防波堤」と言えます。



### 危機に瀕するサンゴ その原因は？

- ❖ サンゴはきれいな海に生きています。海が生活排水や赤土で濁ると、褐虫藻が光合成出来なくなります。またサンゴの上に土がたまると、サンゴは息が出来なくなり死んでしまいます。
- ❖ サンゴ礁を楽しむためのダイビングやシュノーケリングも、踏みつけや、いかりでサンゴを傷つけることがあります。
- ❖ 気候変動によって海水温が上昇すると、サンゴの体内の褐虫藻は死んでしまったり、色素を失ったりします。この時サンゴの色は薄くなり、骨格が白く透けて見えるようになります。これを「白化現象」と呼びます。白化が続くとサンゴは褐虫藻から栄養がもらえず、やがて死んでしまいます。



### サンゴを守るためにできること

サンゴ礁の直面している状況、サンゴ礁の保全、再生への活動について知り、伝えることが大きな一歩です。

海水浴やダイビングをするとき、サンゴを踏みつけたり、折ってしまったりしないように気を付けることも大切です。また、地球温暖化防止のためにCO<sub>2</sub>を減らすこと、海を汚さないことで、くらしの中でサンゴ礁を守ることに貢献できます。

※このページは 環境省「サンゴ礁保全の取り組み」  
<https://www.env.go.jp/nature/biodic/coralreefs/concept.html>  
日本サンゴ礁学会 [http://www.jcrs.jp/?page\\_id=622](http://www.jcrs.jp/?page_id=622) を参照して作成しました



## 【国際サンゴ礁年2018(IYOR2018)記念セミナー「サンゴと共生する社会」を開催】

UNU-IASは2018年6月20日、地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)、一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク(SDGsジャパン)とともに、国際サンゴ礁年2018(IYOR2018)記念セミナー「サンゴと共生する社会」を開催しました。



### セミナー開催概要

#### 日時

2018年6月20日(水) 18:30-20:30

#### 主催

地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)

国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS)

一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク (SDGsジャパン)

#### 協力

持続可能な開発ソリューションネットワークジャパン(SDSN JAPAN)

### プログラム

開会・主催者挨拶

渡辺綱男 (UNU-IASシニアプログラムコーディネーター)

プレゼンテーション1

「国際サンゴ礁年とは。私たちとのつながり」

環境省自然環境局自然環境計画課保全再生調整官 岡野隆宏氏

プレゼンテーション2

「サンゴに優しい化粧品 持続可能な暮らし」

ジーエルイー合同会社 呉屋由希乃氏

プレゼンテーション3

「サンゴの里海を守ろう～私たちができること～」

イヴォーン・ユー UNU-IAS研究員

ディスカッション

「社会と経済、環境の関係とは。環境保全だけでは達成しない持続可能な社会」

モデレーター: (一社)環境パートナーシップ会議 星野智子

セミナー冒頭、渡辺綱男 UNU-IASシニアプログラムコーディネーターが開会挨拶を行い、愛知目標やSDGsに盛り込まれている豊かな海洋環境を将来に引き継ぐためには、多様な人々の力を合わせた行動が必要であることを強調しました。

最初に登壇した岡野隆宏 環境省自然環境局自然環境計画課保全再生調整官は、クイズを交えながら、サンゴという生物の特徴と、サンゴ礁生態系の恵みや現状について講演を行いました。

岡野氏は、高水温や赤土の流失により深刻な影響を受けているサンゴの現状について説明し、環境省によるモニタリングや環境教育を通じた保全や普及啓発の取り組みを紹介しました。





呉屋さんが開発したサンゴに優しい日焼け止め

セミナーでは、呉屋由希乃 ジーエルイー合同会社代表が日焼け止めを塗って海へ入ろうとした際に「サンゴが死んじゃうよ」と言われたことがきっかけとなって「サンゴに優しい日焼け止め」を開発した経験を伝えました。

その後イヴォーン・ユーUNU-IAS研究員が、食料供給や観光資源、防災の役割も果たすサンゴ礁の価値や海洋のプラスチック汚染について講演を行いました。

後半のパネルディスカッションでは、星野智子 一般社団法人 環境パートナーシップ会議副代表理事がモデレーターを務め、参加者からの質疑応答も交えた活発な意見交換が行われました。

保全をビジネスと繋げてゆくこと、サンゴから経済や社会、消費との関係を考え、情報を効果的に発信することが重要という認識が共有されました。

セミナー当日の発表資料は以下のウェブサイトでご覧いただけます。

<https://ias.un.edu/jp/news/iyor-2018.html#info> (UNU-IAS ウェブサイト)

\*\*\*\*\*

## 【サンゴ礁保全 日本国内での取り組み】

地元住民や市民団体、行政といった様々な主体によってサンゴ礁の保全、再生活動が行われています。

**環境省による取り組み** (環境省「サンゴ礁保全の取り組み」参照)

環境省の「自然再生事業」の中にはサンゴ礁を対象とした取り組みもあり、「石西礁湖」(沖縄県石垣島と西表島の間に広がるサンゴ礁海域)などで実施されています。また、サンゴが生育している面積の割合や、白化率などを調べるモニタリング調査も行われています。

**企業や市民団体による取り組み**

サンゴ調査研究活動、サンゴ苗の植え付け、環境保全ツアーといった活動が、企業、NGO、自治体や地元住民、ボランティアとの連携によって行われています。

またサンゴ礁保全への理解を深めるためのセミナーや体験型のイベントも行われています。

\*\*\*\*\*

## 地球環境パートナーシッププラザGEOCとは

GEOCは持続可能な社会の実現を目指す拠点として、1996年に環境省と国連大学により設立されたプラットフォームです。私たちは今日、環境・経済・社会が相互に関係した複雑な問題に直面しています。こうした問題を解決するには、国際機関、国家、自治体、企業、NPO、市民といった多様な主体がそれぞれの立場を認め合い、課題解決に向けて協力し合うことが必要不可欠です。GEOCは、情報収集、情報発信、イベント企画を通じて多様な主体間のパートナーシップを促進することで、持続可能な社会の実現を目指す活動を行っています。



UNITED NATIONS  
UNIVERSITY

**UNU-IAS**

Institute for the Advanced Study  
of Sustainability



**GEOC**

Global Environment Outreach Centre  
地球環境パートナーシッププラザ

国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS)

〒150-8925 東京都渋谷区神宮前5-53-70

TEL: 03-5467-1212 / FAX: 03-3499-2828

<https://ias.unu.edu/jp/>

地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70

国連大学ビル1F

TEL: 03-3407-8107 / FAX: 03-3407-8164

<http://www.geoc.jp/>

